




袈裟襷文銅鐸

指定区分	県指定重要文化財(考古資料)
読みかた	けさだすきもんどうたく
所在地	津山市山下 津山郷土博物館
指定年月日	平成3年4月5日
解説	昭和25年(1950)、勝央町植月北の念仏塚遺跡から、畑の耕作中に発見された。高さ29.8cmのやや小型の銅鐸。文様の帯が縦横に交差するさまを僧侶の衣に見立てて「袈裟襷文(けさだすきもん)」と呼んでいる。岡山県内で出土した銅鐸の中では古いタイプで、弥生時代の工芸品として貴重。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩約15分 / ごんごバス「観光センター前」下車すぐ
公開状況	津山郷土博物館所蔵
設備	 駐車場  トイレ  障害者用駐車場
備考	